2023年度あかしSDGsパートナーズ取組計画書

様式 2

No. 139 和坂かにっこ食堂ボランティアグループ

記入日

2023年(令和5年)4月7日

1. 2030年までに 達成したいこと 参加している子ども、大人が一緒にお互いの人権を尊重 し認め合う関係を作るとともに食を通して、安心して過 ごせる居場所で遊んだり勉強したりしながら、地域の人 たちとつながる場所として確立する。

2. 目指す

	1 競響	2 405	3 FATDAL	4 ROBURRE ALGE	5 RELAT	6 mediabilis editori	7 skid-seast	8 Newst	9 ##2SHTERO
,		y	V		V				
	10 ACENTE	11 should	12 Plant	13 #4.29/c	14 #0#5#5	15 Reserve	16 #96525	17 (1917)	
		V	V		V	V		V	

	3.	重点的な取組							
		取組の趣旨・目的	具体的な取組内容	目標値	達成年				
(1)	(1)	1Fる。 ・提供された品物や食材について、子どもたちに	・学校・家庭・こども食堂に「食べ残しをしない」運動のお知らせチラシを配付する。 ・フードドライブで頂いた食品や地元の新鮮な野菜等 を購入して食事を作る。食材を購入する際は手前の商	ライブ提供者の話を 😓 🗖 🔠	2030年				
		紹介・説明をする。	品から購入する。	当初値(2021年度) 毎月0 回					
		取組の趣旨・目的	具体的な取組内容	目標値	達成年				
(2)	(2)	パートナーシップで目標を達成する。 ・SDGsのどんな取組が出来るか勉強する。 ・SDGsについて家族で話し合ってもらう。 ・お家の仕事(両親のやっている仕事)、どんなお	・勉強会をする(1回15~20分程度)。 ・お家の仕事について家族で話し合い、家族で協力し 分担する必要性を知ってもらう。 ・SDGsの取組を増やし、継続してもらうために子		2030年				
		手伝いが出来たかをこども食堂で発表する。	どもたちに「頑張った賞」を渡す。	当初値(2021年度) 毎月0 回					
(3)		取組の趣旨・目的	具体的な取組内容	目標値	達成年				
		・子どもたちが安心して集い、参加することが楽しみになるような居場所にする。 ・「学び・楽しみ・ふれあう」ことの大切さを知	・月替わりで「ゲーム」を楽しむ ・余った時間で自主学習⇒お互いに教え合う(上の子	参加する子ども 30 人・回	2030年				
	り、お互いの人権を尊重し認め合う関係を築く。	が下の子に教えられる雰囲気づくり)	当初値(2021年度) 20 人・回						

4. 企業・団体の	子どもの居場所が減ってきている中、こども食堂を通じて地域との3	
概要	流の場を提供し楽しく遊び、礼儀や食育を教えていきたい。	
5. 連携希望	有 SDGsに関する学習活動をされている団体との連携を希望します。	

問合せ先

団体名:和坂かにっこ食堂ボランティアグループ

電 話:078-927-6000

メール: uezumi@gold.ocn.ne.jp

担当者:上住